

応募書類記入例

(一般部門)

令和7年11月20日

総社市長 様

団体名 多文化共生を推進する会

所在地 総社市中央1-1-1

代表者 職・氏名 代表 総社 太郎

電話番号 0866-92-8242

総社市市民提案型事業申込書 (一般部門)

令和8年度総社市市民提案型事業実施事業応募要領の規定により、次のとおり関係書類を添えて提案します。

記

事業年度	令和8年度
事業名	総社の多文化共生を推進しよう！
事業費総額	576,900円(支出予算額合計)
交付希望額 (補助対象事業費)	469,000円(1,000円未満切り捨て)
添付書類	(1)事業計画書 (2)収支予算書 (3)団体概要書 (4)資格要件に関する誓約書 (5)団体の定款、規約、会則 (6)団体の会員名簿及び役員名簿(任意様式) (7)申込団体の前年度活動報告書及び決算書(任意様式) (8)その他、活動概要がわかる資料(チラシ・新聞記事等) ※(5)～(8)は必須ではありませんが、可能な範囲で用意してください。

補助金の申請額を記載してください。
予算書の収入の部の【市民提案型事業補助金】と同額になります。
※上限50万円

(一般部門)

事業計画書

団体名	多文化共生を推進する会	
事業名	総社の多文化共生を推進しよう！	
事業の目的	・総社市在住外国人と日本人が交流できる機会を設けるだけでなく、同じ国籍の外国人同士の交流も深めていく。 ・言葉、文化の違いを互いに認め合い、支え合い、共存できる「多文化共生のまちづくり」に貢献する。	
事業の内容 (具体的に記入してください)	①国際交流イベントの開催 ・アジアンフェスタ(7月頃)@カミガツジプラザ 映像によるアジア各国の紹介、ステージでの民族的な踊りや歌の披露、出席者が自由に参加できるその国の昔からのゲーム遊びなど。 ・ハロウィンパーティ(11月頃)@〇〇会館 総社市及び周辺に在住する各国の人々が集まり、参加型のワークショップ(お菓子作り・お飾りの作成)を通して憩いの場を設ける。 ・インターナショナル餅つき大会(1月頃)@公会堂前広場 外国人が多く住む町内会に協力してもらい、新年の餅つき大会を開催し、日本の文化を学ぶとともに、日本人と外国人の地域のつながりを深める。	
事業のスケジュール	時期(月)	活動実施内容
	5月～6月 7月 9月～10月 11月 12月 1月 3月	アジアンフェスタの広報・準備(チラシ作成・会議開催) アジアンフェスタの開催 ハロウィンパーティの広報・準備(チラシ作成・会議開催) ハロウィンパーティの開催 町内会との打合せ(2回程度実施) インターナショナル餅つき大会の開催 取りまとめ・報告書の作成
現状の認識と課題	総社市には令和7年4月1日時点で、1,947人の外国人が住んでおり、今後も増加していくことが見込まれているが、日本人と外国人が交流できる場があまりなく、異文化理解という面において、まだまだ意識啓発が足りないように思える。日本人にとって、外国人と交流することがとても敷居が高いものと考えられていることが課題であり、また、異国の地に来た外国人が、困ったことがあれば誰かに相談できるようなまちづくりが必要だと考える。	
事業実施により期待される成果	国籍・年齢・性別関係なく、誰でも参加できる国際交流イベントを開催し、多くの人の興味を引きつけるよう工夫すれば、国際交流・同胞交流の場となる。その交流がきっかけで、お互いに理解し合い、親交も深まり、日常生活などで支え合い、困ったときに助け合える仲間が増えることが期待できる。	

可能な限り具体的に記入してください。

バックデータを集めて数値化すると分かりやすいです。

(注)記入欄に書ききれない場合は、継紙を添付してください。

(一般部門)

収支予算書

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
市民提案型事業補助金	①469,000	
団体負担金(例:会費等)	10,000	団体構成員 20 名×500 円(会費)
参加費	90,000	80 名×500 円×2 回+20 名×500 円(参加料)
売上高		
寄付金	7,900	協賛企業からの寄付金
合計	②576,900	

(注)必要に応じて、項目や行の追加を行ってください。

2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額	補助対象事業費	内 訳(補助対象事業費分)
報償費	100,000	100,000	ステージイベント謝礼 10,000 円×5 団体×2 回
人件費	37,500	37,500	ボランティアスタッフ経費 500 円×5 時間×5 人×3 回
旅費	35,720	35,700	SP ゲスト交通費 (岡山-東京)
消耗品費	50,000	50,000	事務用品(コピー用紙・インク・模造紙・マジックなど)お箸・紙コップ・紙皿
原材料費	50,000	50,000	衣装・装飾用(布・ボタンなど)
食糧費	100,000	3,000	会議お茶代 100 円×10 人×3 回
印刷製本費	15,000	15,000	チラシ印刷代 1,000 部
燃料費	6,000	6,000	発電機用燃料
光熱水費	1,500	1,500	公会堂水道代(餅つき大会)
通信運搬費	4,200	4,000	チラシ郵送料 84 円×50 枚
手数料	1,980	1,300	保険料振込手数料 660 円×3 回
保険料	15,000	15,000	イベント保険 5,000 円×3 回
使用料・賃借料	10,000	10,000	会場費 5,000 円×2 回
委託料	80,000	80,000	音響機器委託 40,000 円×2 回
備品購入費	60,000	60,000	屋台用テント 30,000 円×2 基
その他経費	10,000	0	町内会への土産代
合計	②576,900	①469,000	

(注)項目によっては「補助金額の 3 割」など、金額の上限が決まっているものがあります。

(注)補助対象事業費は、1,000 円未満を切り捨てた数字を記載してください。

内訳は、金額の根拠が分かるようにできるだけ具体的に記入してください。

(一般部門)

団体概要書 (一般部門)

団体名	多文化共生を推進する会			
主たる事務所の所在地	〒719-1192 総社市中央1-1-1	<p>日中連絡が取りやすい 電話番号を記載してください。</p>		
代表者氏名	総社 太郎			
連絡先	住所		〒719-1126 総社市総社〇〇番地	
	電話		0866-92-8242 ・ 090-☆☆☆☆-△△△△	
	FAX	0866-93-9479		
	E-mail	jinken-machi@city.soja.okayama.jp		
設立年月	令和 6 年 4 月			
団体の目的	「国籍を越えた多文化共生のまちづくり」をキーワードに、多文化共生を推進し、「外国人市民との顔が見える関係づくり」を目指し、国際交流イベントを通じて聞こえてくる外国人市民の声を反映した特徴のある多文化共生事業を展開しています。			
主な活動実績	【令和7年度】 4月 多文化共生を推進する会を設立 5月 Facebook にてメンバーを募集 8月 多文化共生サマーフェスティバルの開催 カミガツジプラザにて「水遊び」をコンセプトとした国際交流イベントを開催した。			
構成員	20人(うち役員 5人)			
団体に対する補助金の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> (該当するものを○で囲んでください) (有の場合、具体的に)			

(注)記入欄に書ききれない場合は、継紙を添付してください。

総社市長 様

団体名 多文化共生を推進する会

所在地 総社市中央1-1-1

代表者 職・氏名 代表 総社 太郎

電話番号 0866-92-8242

資格要件に関する誓約書（一般部門）

当団体は、下記のすべてに該当します。

この誓約書が虚偽であり、またはこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

- 1 総社市内で事業を実施可能で、かつ、事業を完遂する見込みがあること。
- 2 5人以上で構成されていること。
- 3 代表者が明らかであること。
- 4 営利を目的としないこと。
- 5 政治活動や宗教上の教義を広める活動を主たる目的としていないこと。
- 6 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団又は、その構成員の統制下にある団体ではないこと。